

西特だより

三つの学部と訪問教育

5月8日から、新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置付けが5類感染症になったことを受け、本校でも地域や関係機関の皆様との関わりを少しずつ再開し始めています。5月には、小学部の児童2人が、地域の方の畑でじゃがいも掘りを体験させていただきました。また、6月の学校公開では、来校された73人の参加者に本校の様子を直接見ていただくことができました。地域や関係機関の皆様とのつながりは、本校の教育活動の充実につながります。今後も御協力をお願いします。

さて、今回は、本校の小学部、中学部、高等部の三つの学部と訪問教育の特色について御紹介します。

小学部

(児童数：47人)

学習する楽しさを味わう中で、考える力、学ぶ力の基礎を身に付けたり、友だちや教師との関わりの中で、伝える力を高めたりしていきます。

中学部

(生徒数：36人)

自ら進んで学習する意欲や態度を身に付けるとともに、社会参加を目指して協調性や表現する力を高めていきます。

高等部

(生徒数：28人)

人や環境との関わりを通して、自己理解を深めるとともに、卒業後の社会生活の実現に向けて努力する意欲や態度を身に付けていきます。

訪問教育

(児童生徒数：29人)

週2回から3回、自宅や施設で学んでいます。一人一人に合わせた教材を使って、様々な活動を行う中で自分の気持ちを表現する力を高めていきます。

～本校の歩み～

1964年（昭和39年）静岡県立静岡養護学校西部分校として設立

1974年（昭和49年）静岡県立西部養護学校として独立

2008年（平成20年）静岡県立西部特別支援学校に校名を変更

2017年（平成29年）新築移転

※2024年（令和6年）には、創立60周年を迎えます。



旧校舎 >>> 現校舎

☆小学部☆ 笑顔が輝いた運動会

6月7日(水)に運動会を開催しました。

第一部の種目は玉入れを行い、自分が得意な投げ方でボールを箱に投げました。自分の番はもちろん、友達の応援にも力が入りました。

第二部と第三部の種目は滑り台とボールスライダーを行いました。掛け声や歌に合わせて体が動くと、表情が変化したり手足を動かしたりして楽しさを表しました。



☆中学部☆ 一人一人が主役！ 体育大会



6月16日(金)に中学部体育大会を開催しました。大会スローガン「仲間を信じ、そして高め合おう！」のもと、一人一人の生徒が活躍する体育大会を目指して、グループごとに競技に取り組みました。また、競技のみならず開・閉会式の進行、スローガンの制作・発表、ポスターの制作、得点発表等、各グループの生徒が活躍する場がありました。

グループごとに工夫された競技で大変盛り上がり、日ごろの練習の成果を精一杯発揮することができました。

☆高等部☆ 白熱！！スポーツフェスティバル

5月31日(水)に本校体育館で、高等部スポーツフェスティバルを開催しました。

競技は「ティーボール」「ボッチャ」「ボール運びリレー」を行いました。それぞれのグループで当日までにたくさん練習を重ね、自分ができることを最大限に力を発揮し最高の盛り上がりを見せました。

今回の総合優勝は・・・青組の勝利で幕を閉じました。



☆訪問教育☆ 季節を感じる授業を積極的に行っています！



訪問教育の児童生徒は、家庭や施設の中で過ごすことが多いため、季節の移ろいを感じられるように、野菜や花などを積極的に授業に取り入れています。4月はすずらんやたんぽぽ、5月はたけのこや茶葉、6月はあじさいを授業に取り入れました。

直接触れて手触りを感じたり、匂いを嗅いでみたりする中で、視線や口を動かしたり、脈拍が早くなったりと、違いを感じ取りそれぞれの方法で表すことができました。